

## 森林を守ろう！情熱講演会

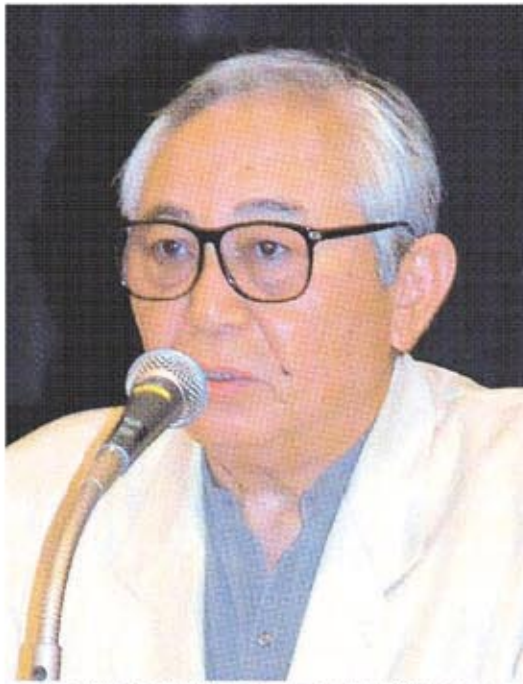


「北海道で考える」と題して開かれた講演会—松江市殿町、島根県民会館

### 略歴

くわもつ・そう 1935年、東京に生まれる。東京大学文学部・美学科卒業。59年、ニッポン放送入社。63年、退社後、シナリオ作家として、主にテレビドラマを手掛ける。77年、富良野に居を移す。84年より私費を投

### 倉本聰さん「北海道で考える」講演要旨



自然環境を維持する上で森林機能の重要性を強調する倉本聰氏—松江市殿町、島根県民会館

テレビドラマ「北の国から」などの脚本を手掛け、森林再生活動にも取り組む倉本聰さんの講演会「森林を守ろう！情熱講演会」（森林を守ろう！山陰ネットワーク会議主催、山陰中央新報社など特別協力）がこのほど、松江市の島根県民会館

と鳥取市のホテルニューオータニ鳥取であり、倉本さんは「北海道で考える」と題して空気や水を供給する森の大切さを訴えた。自然環境を維持する上で欠くことのできない森林機能を分かりやすく紹介した講演の要旨を紹介する。

### 皆伐で地下水枯れる

私は三十年前に北海道が分かった。皆伐で大木も出るようになり、日照りが続くや砂漠になる。東大の演習林もある。ここで二十三年前に役者とシナリオライターを育てた。富良野野馳を立ち上げた。四十八人が四角の谷で生活する上で大切なのは水。周りに水があり、わき水を採り、それを使って生活を始めた。ところが一年後に水枯れが起きた。四角の谷にある農家は井戸も出なくなった。調べると、上流の山で行われた農地改良事業で大層に森が開かれたこと

### 「木の葉は貴重なり

おとし、自宅に近い地元のゴルフ場が閉鎖されてきている。この土の活用策について相談を受けた。森に返すことになり、6ホール三十五という言葉がある。アイヌ語で神々が遊ぶ庭と

いと暮らせない。井戸を掘って何とかのいだが、そこから森に興味を持つようになり、森の大切さを切実に感じるようになった。「文明の前進に必要なのは、文明の後継者が残る」という言葉がある。本音が思

### 実生増えて希望わく

この当たり前のことを何がやってくれるのか。それが森の木の葉だ。葉が光合成で二酸化炭素を取り込んで酸素を吐き出し、森の中で葉は

貴重なもの。例えばゴルフ場に一本のシラカバが、その急激な水の流出が食い止まれている。豊かな葉に包まれた森の地面は、それが何枚かついて、湿ったスポンジのよう

### 恐ろしい地球高温化

地球は四分の三が海。残りが陸地。陸地の三分の一は砂漠。さらに砂漠でない所の三分の一が森は簡単に再生できない。森がなくなると、インドネシア、マレーシア、アマゾンなどの熱帯林が、アマゾンなどの熱帯林だ。

に大切。地球は奇妙の意味だ。太陽からの距離、感度、太極からの距離、大きさなど、さまざま

### 自然は子孫から借用

この熱帯林が地球上の酸素の40%をつくっている。一坪の地球に対して月面積は年々、減っている。今のペースでいくと、太陽は直徑百、距離は二億キロ。この距離が

私が見て一番美しい。アンの中には「自然は子孫から借用する」という言葉がある。自然は子孫から借用する。自然は子孫から借用する。自然は子孫から借用する。



講演に聴き入る来場者—松江市殿町、島根県民会館

## 森林保全活動レポート その⑨

雑木林と日本人は数千年にわたるパートナー。これからもよりよい関係を築けるよう、提言を続けていきたい。



今回の森林保全活動レポートその⑨に登場する  
**広葉樹文化協会**  
 平成3(1991)年設立。広葉樹の様々な活用方法を模索するために生まれました。会員は約750名。北海道や沖縄、ブラジルやイギリスに在住の会員もいらっしゃいます。活動内容は年2回発行の機関誌「フォレストアート」にまとめられています。

### 豊かな緑を子どもたちの未来へ！ 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議

山陰の森林に関する活動を展開しているNPO法人やボランティア団体を中心にネットワークを構築し、森林保全の輪を広げる活動を展開します。

今後の活動予定(参加は自由です)  
 10/14(土) 京都市の下鴨神社(世界遺産)にも指定されている「乱の森」を訪れます。

- 森林を守ろう！山陰ネットワーク会議 参加団体のみなさん(6月18日現在) ※一部
- 鳥取県
    - NPO法人 賢賢 おやじの会(鳥取市)
    - NPO法人 ササキネット(倉吉市)
    - 広葉樹文化協会(鳥取市)
    - 財団法人 南都町地域振興会(南都町)
    - 大山横手道土上フナを育成する会(米子市)
    - 鳥取県木造住宅推進協議会西部支部(米子市)
    - 鳥取市女性の森グループ(鳥取市)
    - トリネット(米子市)
    - 日野川の源流と流域を守る会(日野町)
    - 丸山生産者森林組合(伯耆町)
  - 島根県
    - 出雲市林業振興協議会(出雲市)
    - NPO法人 緑と水の連絡会議(大田市)
    - NPO法人 もりふれ倶楽部(松江市)
    - 源流の森里山づくり(邑南町)
    - 財団法人 島根県西部山村振興財団(浜田市)
    - 里山を育てる会(松江市)
    - しまねフォレストネットワーク出雲(出雲市)
    - 薪ストーブ同好会(松江市)
    - 松江ネイチャーゲームの会(松江市)
    - 木質バイオマスエネルギー地産地消ネットワーク(松江市)
    - 森の特産(出雲市)
    - 遊木民倶楽部(益田市)
  - 特別協賛
    - 山陰中央新報社
    - 新日本海新聞社
  - 特別協力
    - 凸版印刷株式会社

### 森林を守ろう！情熱講演会 感想文を大募集

山陰の間伐材を利用した 紙容器入りドリンク プレゼント

「森林を守ろう！情熱講演会」に関する感想(800文字以内)を郵便またはFAXで募集しています。

抽選で20名様に「間伐材を利用した紙容器入り緑黄色野菜ジュース」(提供ポッカコーポレーション/195ml入り/24本)をプレゼントします。

感想文をお送りいただく際にお名前、年齢、郵便番号、ご住所をご記入ください。締め切りは9月30日消印有効。なお当選者の発表は高品質の発送をもってさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報(プレゼントの発送のみに使用させていただきます)。

※作品の返却はいたしません。

※入賞作品は、新聞、当会議のHP、各種印刷物に掲載させていただきます。その際には、氏名・年齢・居住の市町村を掲載いたします。

※当会議で文章を手直しさせていただく場合があります。

〒690-0062 松江市魚町10  
 山陰合同銀行 地域振興部内  
**「森林を守ろう！山陰ネットワーク会議」**  
 感想文係  
 TEL.0852-55-1820  
 FAX.0852-28-0495